

## 平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

### ■ 施設名

横浜市中村地域ケアプラザ

### ■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実施評価との共通部分

#### 1 全事業共通

##### (1) 地域の現状と課題について

■中村地域プラザ圏域は、高齢化率は 29.7%と他の圏域に比して高い地域であり、

1. 人口減少が進み、50 年間で 2/3 まで減少している。
2. 年少人口の減少が著しく、町丁目単位で見ると年少人口率 5%台という地域もあり、圏域全体でも 9%程度となっている
3. 55 歳以上人口が、町丁目単位で 50%に達する地域がある。
4. 20~39 歳の女性の数は H10→H20→H30 年の動きを見ると【2,366→2,049→1,712 人】と直近 10 年間に 14%、20 年間で 28%も減少した。
5. 一世帯あたりの人口は圏域平均で 1.76 人で、直近 20 年で△0.3 人となっている。

これらのことから、今後さらに少子高齢化と単身化が進んでいくと思われる。また、高齢単身化率（CP 圏域 136CP 中 3 番目）及び要介護認定率（同 2 番目）、被保護率も高く（南区は中区に次いで 2 番目）、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所の担う役割は一層高くなることは確実である。

空き家が増えている一方、新築される建物はワンルームマンション・アパートが多く単身世帯の増加に拍車をかけている。しかし、若い住民は地域外に出かけることが多く、地域活動への参加は難しい。一方、外国人の流入も増加しつつある。

また、高低差が大きく、圏域の標高差 40 メートルを超えている。しかし、坂の上（平楽・唐沢・山谷地区）には商店がほとんどない。さらに坂の上唯一の公共交通であるバス路線（市営 11 系統）も見直し対象路線となっており、2018 年 6 月以降の減便が決定された。

これら大きな地域課題に対し、近隣住民同士の支え合いシステムや買い物支援などの実現に向け、仕掛けを作っていく必要がある。

##### (2) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

■窓口を訪れる方については相談内容に応じて担当部門が迅速に対応している。担当部門は必ず事務所にいることを心がけ、万一不在時には必要な範囲で連絡先や内容を確認し、担当につなぐ連携ができています。これは非常勤職員にも徹底している。また、必要に応じて携帯電話を携帯し、緊急時には即時対応できる体制を整えている。

■ケアプラザの事業やサークル活動時に受ける相談については専門職につないでいる。

■プレの認知症カフェを開催した。今後も地域交流部門、地域包括支援センター、生活支援コーディネーターの連携のみならず、南区、睦地域ケアプラザ、浦舟地域ケアプラザ、中村地区センター共催で、認知症の方を支援している担い手向けの「認知症啓発講座」を実施していく。

##### (3) 各事業の連携

■所長、包括三職種・地域活動交流と生活支援のコーディネーターの「五職種会議」のほか、居宅介護支援事業所管理者、通所介護事業所管理者との会議を毎月開催した。

■地域包括支援センター三職種と生活支援コーディネーター、あるいは地域活動交流コーディネーターと生活支援コーディネーターといった関係は連動・協働する機会が多く、固定化した会議だけではなく、都度情報交換しながら、引き続き活動を進めてきた。とりわけ、生活支援の事業は包括の介護予防や地域交流と密接に連動しているため、「自然連携」が取れるよう、30年度も具体的な生活支援事業を進めていく。

#### (4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

■少子高齢化と人口減が進み、すべての業種において人出不足が言われており、退職者がでないような施策を取ることが肝要。たとえば、職場環境の整備、有休積極的取得、時間外勤務の減少など、所長が指示して進めていった。

■キャリアアップのため、あるいは知識の深化・広がり等を目的とした研修には、職員を積極的に参加させていった。

■指定管理である以上、公正・中立は当然のことと受け止め、常に意識させるための所内の掲示物を増やす、行政からの指示・指導を厳格化するなどの取組を継続していった。

#### (5) 地域福祉保健のネットワーク構築

■中村地区連合の会長会議をはじめとし、19 単位町内会民生児童委員会、保健活動推進委員会、老人連合会、中村地域ケアプラザ登録団体などに対し、生活支援整備体制事業の説明、生活支援コーディネーターの周知などを継続していった。周知活動において、中村地区の現状と今後の見通しを説明し課題を共有する場を作ったが、今後は方針を多少変更。

■中村地区ボランティアちよこっとお助け隊のメンバーを広域から募ることで中村地区全体をカバーできるようになったほか、若い方の買い物支援も始まった。今後も若い方が参加できるような企画を進めていく。

■地域内のマンション集会室や作業所、町内会館、ケアプラザとして介護予防事業やサロンに利用することについて地域のニーズを収集し意見交換の場を設け、関係機関とともに協議する機会を作る支援をしていった。

#### (6) 区行政との協働

■月1回の区と区社協担当者との情報交換のほか、地区社協事業の進捗状況の確認などを引き続き実施した。

■生活支援事業についての具体的な意見交換会を、行政、区社協、地域住民と進めた。

■子育てひろば、障がい児余暇支援事業について、区の担当者と共に今後どのように支援していくかを担い手等と現状を確認し検討した。

■区の方針や意向と共に、参加者、担い手との意見交換の機会を作るようにしていった。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

■中村地区別計画の課題やニーズを念頭に企画するよう心掛けた。

■子どもから高齢者まで参加可能な講座を多数企画した。子ども向けでは、親子参加型のパン作り体験、陶芸講座、ポーセリンアート、花育、クリスマスコンサート&ランチ会、大人から高齢者向けでは、ポーセリンアート、フラワーアレンジ、歴史講座、珈琲講座、スマホ講座等を開催した。人気講座は複数回開催し、圏域内でも丘陵地である唐沢、平楽地区での出張講座も多数開催した。

■子育てサークルとの共催でハロウィンパーティーを開催し、150名超の子どもが参加した。

■障がい児余暇支援事業では、今年度から新規事業として音楽を中心とした企画を開催した。小・中学生だけではなく、高校生も参加可能とした。毎回楽しみに参加する子どもも多くあり、次年度以降の継続も決定。

■外国文化交流事業として「フィリピン料理講座」を行い、家庭料理や日常生活について学び交流した。

### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

■毎月1日の貸館予約日には登録団体が広く公平にケアプラザを利用していただくため、部屋利用日が重なった場合は話し合い譲り合うことで解決していった。

■貸館の利用法や、部屋の空き情報を掲示して活動しやすくした。

■地域内外のボランティアニーズ情報を収集し、マッチングした団体や個人の活動場所として伝えていった。障がい児余暇支援事業「みんなで遊ぼう音楽遊び」では、新規のボランティア参加者が4名あり、毎回多くのボランティアに参加した。来年度以降も参加して頂く予定。

■横浜市シニアボランティアポイント講習会を4回開催し、そのうち2回は出張講座として開催。職員3名が新たにシニアボランティアポイント講習会の講師研修を受講し、講師認定を受けた。希望者が少人数でも随時対応可能な体制を整備した。

### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

■「中村地区ボランティアちょこっとお助け隊」として52回活動した。昨年度の活動回数が26回だったので、2倍の活動数。草むしり以外も電球、電池の取り換え、家具解体、水道修理、窓拭き、ペンキ塗りなど活動内容を拡大していった。

■「中村地区ボランティアちょこっとお助け隊」の全体会議を8回開催し情報を共有した。また、唐沢地区のサロンを会場として借り、情報交換会及び定例会を開催した。

■「中村地区ボランティアちょこっとお助け隊」に10名の新規参加者があり、登録者数が31名となった。また、その登録者の中から「買い物支援／おもいやり隊」が発足し、買い物が困難な地域でパンや野菜の販売を定期開催した。

#### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

■ 毎月の広報誌の発行、法人ホームページの更新、各講座や企画ごとのチラシ作成、ケアプラザの Facebook ページの更新を進めた。Facebook のフォロワーも少しずつ増えており、多い時には 300 近いアクセス数があった。広報誌については、連合町内会にて各町会へ配布し、地域内の掲示板、回覧板でも配布した。圏域内の関係施設へも持参、郵送した。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

■ 包括 3 職種と包括ミーティングを行い、個別支援状況の情報と支援方針を共有した。包括会議では地域ケア会議や協議体として実施した意見交換会や実行委員会の進捗状況を報告し方針を確認した。また所内会に参加し地域交流で実施している自主事業との連携を確認するとともに他部門への周知をした。地域活動交流の会議には必要に応じて出席し生活支援体制整備事業との連携を強化した。

■ 南区内及び市内外のケアプラザや施設で実施されている事業の情報収集を行い参考にします。また必要に応じて相談や見学を依頼した。そこで得た情報は所内で共有するとともに生活支援コーディネーター会議に提供し共有した。

#### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

■ 個別の地域ケア会議で出された地域の生活課題やニーズ、包括ミーティングの個別課題やニーズを共有した。生活支援事業とともに包括や地域活動交流による自主事業への参加者へのアンケート調査を行い、意識調査とともに啓発活動に活かし、新たな資源情報リスト作成への参考とした。

■ 今年度作成されたサービスリストを活用し地域に必要な団体や企業への働きかけを強化した。

#### (3) 連携・協議の場

■ 単位町内会・単位老人クラブ・連合町内会会議・民生児童委員会・保健活動推進員会・食生活等改善員会及びボランティアグループ、高齢者サロン、子育てサロンなどに必要に応じて出席し情報提供や収集した。現在まで中村地区の生活支援体制整備の進捗状況や今後の進むべき方向を示す機会としている。中村地域ケアプラザで登録しているサークルも支援対象者としての様子も把握し、地区社協に対しては広報紙の資料を提供しサロンマップ作成に協力した。

■ 区役所、区社会福祉協議会と協働して協議体を開催し地域課題やニーズの意見交換の場を設定し協議の場としていった。

#### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

■ 少子高齢化率が進んでいることもあって地域活動の担い手不足が不足しているが、29 年度はボランティア育成講座を開催し新たな人材を育成した。

■ 丘陵地と平坦地の地域課題の違いが挙げられる。丘陵地では集いの場がない事や高齢者や子育て中で買い物に困っている住民の支援について協議体で検討した。丘陵地の居場所として地域活動交流や包括支援センターと協働して新たなサロンが立ち上がった。また買い物支援の支援者グループが結成され活動を開始するに新たに買い物拠点が整備された。

#### 4 地域包括支援センター運営事業

##### (1) 総合相談支援業務

###### ① 地域におけるネットワークの構築

■民生・児童委員や友愛活動員、中村地区連合町内会の定例会に参加すると共に、地域で活動しているケアマネジャー等関係機関と定期的な意見交換を行い、顔の見える関係を作っている。

■地域の高齢者サロンに地域包括支援センター職員が参加し、支援を継続することで、サロンの担い手や参加者との安定した関係作りを通じて様々な情報を集め共有した。

■地域ケア会議を定期的で開催して担当職員、ケアマネジャー等福祉関係機関、医療機関、町内会役員や民生・児童委員等地域とのネットワークづくりに取り組んでいる。

■地域の協議体や協議体作りのための意見交換会等にも積極的に参加し、地域の担い手と連携・支援を行い、関係作りをしていった。

###### ② 実態把握

■総合相談の結果や要支援者のサービス利用状況、行政資料等の各種統計資料等を活用したデータを作成し、地域の実態を「見える化」することで課題となっている問題点やニーズの把握の解決を図っている。

■地域からの相談や関係機関の情報を収集し、「ママ・マルシェ」など買い物困難地域等、様々な課題を把握し、地域ケア会議につなげることができた。

■月1回の南区担当職員とケースカンファレンスを実施し、最新の地域情報を共有している。

###### ③ 総合相談支援

■地域ケア会議（包括レベル）を活用し、地域関係者と情報共有し、問題把握、課題解決のための意見交換をしている。

■相談内容に応じて適切な情報提供するとともに、関係機関や制度につなげ事業等に反映させている。

■地域包括支援センター内で法人内情報管理システムを使い、だれでもすぐに総合相談の内容が把握できる環境を作り、また週1回のミーティング、月1回の部門会議を実施し総合相談の内容、特に困難ケース等の情報共有、対応の検討を行い、適切に継続フォローができる体制を作っている。

##### (2) 権利擁護業務

###### ① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

■様々な機会を通じて成年後見制度活用講座を開催し経済的虐待や悪質商法への対策、認知症状の増悪から金銭管理が出来なくなった時の有効な制度であることを普及啓発を続けている。

■認知症が進んだ方やその家族からの成年後見制度の相談を受け、申立支援や専門職の紹介をしている。また、独居でご家族がいない方については、南区担当職員につなげ、区長申立の検討と、後見人が選任されるまで、生活が滞らないよう支援している。

■個別相談時や高齢者サロン等機会を見つけて、成年後見制度の活用促進や、消費者被害の防止の周知をしている。

■実際に消費者被害にあったケースに対しては、消費生活総合センター等関係機関と連携し対応している。

## ② 高齢者虐待への対応

■虐待のケース、虐待の虞のあるケースに関して、横浜市高齢者虐待防止事業の指針に基づいた対応を進めた。

■虐待のケースに関して、状況が悪化しないよう、速やかに南区担当職員と情報共有し担当のケアマネジャーも含めてケースカンファレンスや必要に応じてネットワークミーティングを重ね、支援計画を作成し、それに基づきそれぞれの分担を決めて連携した対応をしている。

■介護者ストレスが高じて虐待に至ることを防ぐ意味から、いつでも介護者から相談を受けられるよう隔月に1回（年間6回）介護者サロンを継続実施した。

## ③ 認知症

■認知症の正しい理解の促進のため、中村地区で活動している認知症キャラバンメイト（なかむらキャラバンメイトの会）の皆さんの活動を継続支援している。

■認知症サポーター養成講座を、従来からの石川小、中村小に加え、横浜中央看護専門学校でも開催した。

■認知症の人と介護者が安心して、地域で暮らせるよう生活支援コーディネーターと連携し認知症カフェの立上げ、実施に向けた取り組みと他の地区とのネットワーク構築に努めている。

## (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

### ① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

■地域ケア会議等を活用し、中村地区の民生児童委員、ボランティアグループ、サロン運営者、キャラバンメイト等とケアマネジャーとの情報共有・意見交換ができるようにしている。

■民生委員と中村地区で活動するケアマネジャーとの懇談会を開催し、情報共有・意見交換ができるようにしている。（年4回）

■地域住民向けの認知症講座を開催し、顔の見える関係づくりを進めている。

### ② 医療・介護の連携推進支援

■地域ケア会議に医師などの医療関係者を招き、地域レベルでの医療職と介護職、地域住民との関係づくりを推進している。

■南区在宅医療ネットワーク会及び在宅医療相談室の運営に協力し、医療職・介護職も連携して支援している（事務局会議への出席、事例検討会でのファシリテーター等）。

### ③ ケアマネジャー支援

■南区内の地域包括支援センター共催で、インシデントプロセス法を用いた事例検討会等の研修を実施してケアマネジャー支援を進めている。

■南区内の地域包括支援センター共催で年1回、南区で就労する新任ケアマネジャー向けの実習を行い、研修等の支援をした。

■担当エリア内で活動するケアマネジャーを対象にケアプランの確認・アドバイス等を実施した(随時)

■電話やメール、窓口によるケアマネジャーからの相談に応じている。(随時)

### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

#### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

■地域ケア会議の開催を推進し、医療、介護等の多職種が協働して高齢者の個別課題の解決を図れるようにしている。

■南区在宅療養ネットワーク会、在宅医療相談室と連携し、多職種間のスムーズな連携システム構築を図っている。

■地域包括支援ネットワーク構築のために、定期的に中村地区近郊の医療機関・介護施設等と情報交換を実施している。(毎月)

### (5) 介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

#### 介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

■エリア内に居住する利用者に対して、可能な限り自分の家でその有する能力に応じて自立した日常生活が営むために必要なサービスが適切に利用できるよう、自分の選択に基づいた介護予防ケアプランを作成し、その計画に基づいて適切にサービスが受けられるよう、関係機関と連絡調整、その他便宜を図っている。

■介護予防ケアプランを作成する上で、委託を行う場合は担当ケアマネジャーと協力し、要支援者の主体性や意欲を引出し、目的志向型の介護予防ケアマネジメントになるよう取り組んだ。

■把握した事業対象者に対して、生活支援コーディネーターと協力し地域資源を把握し、インフォーマルサービスの活用を促している。

### (6) 一般介護予防事業

#### 一般介護予防事業

■地域内の老人会や民生委員主催の食事会、サロン等に参加し、介護予防のきっかけとなる情報提供や活動の参加を促している。地域内に2か所ある「元気づくりステーション」が、主体的、継続的に活動できるよう支援を継続している。

■運動を行うグループや、趣味活動を行うグループが計50団体以上が利用している。介護予防の知識を知ってもらうため、高齢者の体操グループの代表者とエリアサポーター等で地域活動をしている方を対象に講座を行い、介護予防の継続的な取り組みが出来るよう支援をしている。

■一般高齢者の中で虚弱の人を発見するため、5月にカサ・デ・サンタマリアで、9月に

中村地区センター、11月に中村浴場でお元気で21健診を実施した。また、地域性を考慮して、出前版のお元気で21健診を7月に中村町5丁目町内会館、9月に山谷の老人会山谷若葉会に出向き行った。

■一般高齢者の中で虚弱の人を把握したのち、介護予防に取り組める機会が持てるよう、年間を通じて定期的にG○G○！健康講座を開催した。

## 5 その他

--





#### (4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

■防犯対策及び防災対策のマニュアルを基に職員の指導を行い、大規模な事故や災害等の緊急事態が発生した場合は、速やかに必要な措置を講じるとともに関係者等に対して緊急事態発生旨を通報するようにしている。なお、地域柄、所内防犯対策として28年度から警備会社にダイレクト通報できる装置を設置している

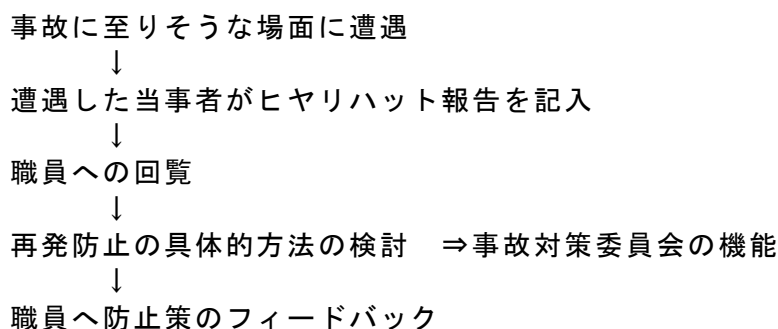
■近隣の八幡町交番、南警察署生活安全課と連携して不審者の来所等に対応できる体制を整えているほか、警備会社に通報できるよう、設備を整備している。

■AED機器を設置して職員研修を行うことで、救急時によりの確な対応が出来るように常に備えている。

#### (5) 事故防止への取組について

■事故防止に関しては指定管理者受託法人内に事故対策委員会を設置しこれに取り組んでいる。また、サービス提供時に発生したヒヤリハットは下記のチャートの順にそのすべてを検討し、事故防止に関する重要な情報として活用している。

##### \* ヒヤリハット報告（インシデント報告）の活用サイクル



\* 業務遂行時にヒヤリハット行為に敏感になり、多くの報告を提出することによって事故を未然に防ぐよう体制を整えている。

#### (6) 個人情報保護の体制及び取組について

■年度1回、個人情報の取り扱いのルールについての研修を実施している。

■個人ファイル等、個人を特定できる情報及び家族等特定の個人を識別できる書類は事業所内の施錠できる場所に保管して管理している。施錠管理については部門毎に責任者と所長が鍵を所持している。

■個人ファイル等の個人情報は、直接担当者以外は許可を得ての閲覧としている。

■事業所外への持ち出しは原則禁止し、担当者会議等で持ち出さなければならない場合は所長または事業管理者の許可を得てから持ち出すこととしている。

■個人情報記載文書のFAX送信、郵送時には個人情報部分をマスキングする等の注意を払っている。また、デイサービスの連絡帳等のやり取りは複数の職員による点検を行い渡し相違がないようにしている。なお、FAX送信時には相手先番号を2回確認しないと送信できないよう、物理的にも対応済である。

■保存期間を過ぎた個人情報は法人の定める規程により適正に処分している。

■業務に使用するパソコン及び周辺機器に関しては指定管理者受託法人のパソコン使用規定に基づき個人情報漏洩事故防止を徹底している（記憶メディアは使用できない）。

(7) 情報公開への取組について

■利用者本人又は契約書代理人より個人情報の開示、訂正等の申し出がある場合は法人規程に則り情報開示又は訂正の手続きをしている。

■事業計画及び事業報告の冊子を館内の情報ラウンジに閲覧できる状態で配置して施設の運営状況を公開している（一部インターネット経由）。

■介護サービス情報公表制度を活用して積極的に事業内容の公開に努めている。

\* 介護サービス情報公開制度：対象…居宅介護支援事業と通所介護サービスの介護保険事業。

(8) 人権啓発への取組について

■個別相談時や高齢者サロン等機会を見つけて、引き続き成年後見制度の周知をしている。また、認知症が進んだ方やその家族からの成年後見制度の相談を受け、申立支援や専門職の紹介をしている。

■介護者ストレスが高じて虐待に至ることを防ぐ意味から、いつでも介護者から相談を受けられるよう定期的に介護者サロンを実施している。

(9) 環境等への配慮及び取組について

■過剰な電力消費を抑制するため、昨年度に引き続き、共用部分の照明の半減、施設ライトアップの短縮、エアコン設定温度を確認できるように各所に温度計を設置して節電に努めている。

・人口密度が高く、道路幅の狭い地域なので、職員の訪問には自動車よりも徒歩や電動自転車を使用している。29年度は自転車の台数を増やし、自動車の利用をさらに減少させた。

■ゴミ出しの分別を徹底することにより、ゴミの減量とリサイクルに従前同様取り組んでいる。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

介護保険法等の関係法令に定める人員基準以上の配置。

《目標に対する成果等》

■エリア内に居住する利用者に対して、可能な限り自分の家でその有する能力に応じて自立した日常生活が営むために必要なサービスが適切に利用できるよう、自分の選択に基づいた介護予防ケアプランを作成し、その計画に基づいて適切にサービスが受けられるよう、関係機関と連絡調整、その他便宜を図っている。

■介護予防ケアプランを作成する上で、委託を行う場合は担当ケアマネジャーと協力し、要支援者の主体性や意欲を引出し、目的志向型の介護予防ケアマネジメントになるよう取り組んでいる。

■把握した事業対象者に対して、生活支援コーディネーターと協力し地域資源を把握し、インフォーマルサービスの活用を促している。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

事業者の担当者もしくは居宅介護支援事業者の介護支援専門員が、通常のサービス地域をこえる地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費（実費）の支払いが必要。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

■中村地域ケアプラザの地域特性、高低差が大きい・単身高齢者率が高い等の状況に応じて、坂の上等のエリアに出張し、参加しやすい介護予防事業に取り組んでいる。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
54	54	55	54	48	53
10月	11月	12月	1月	2月	3月
52	51	53	57	61	59

●居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者：常勤 1 名（主任介護支援専門員を兼務） 介護支援専門員：常勤 7（専従 6 名、管理者兼務 1 名）

《目標に対する成果等》

介護保険法等の関係法令に従い、利用者に対し、可能な限り居宅においてその有する能力に応じて、自立した日常生活を営むために必要な居宅サービスを適切に利用できるよう、利用者の選択に基づいて居宅サービス計画（ケアプラン）を作成している。また、作成した計画に基づいて適切な居宅サービスの提供が確保されるよう、サービス事業者等との連絡調整を密に取っている。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

ケアマネジャーが通常のサービス提供地域をこえる地域に訪問・出張する必要がある場合には、その交通費（実費）の支払いが必要。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

①常勤の主任介護支援専門員が配置されている。②常勤かつ専従の介護支援専門員を 3 名以上配置。③利用者に関する情報又はサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達等を目的とした会議を定期的に開催している。④24 時間連絡体制を確保し、かつ、必要に応じて利用者等の相談に対応する体制を確保している。⑤運営基準減算又は特定事業所集中減算の適用を受けていない。⑥介護支援専門員 1 人当たりの平均利用者数が 40 人未満。

《利用者実績》

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
192	186	203	196	204	204
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
204	208	207	209	196	202

平成29年度「横浜市中村地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,537,365	0	18,537,365	18,537,365	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	170,600	△ 170,600	指定管理料充当 事業 この列は入力しない
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0	0	0	40,820	△ 40,820	
印刷代	0		0	31,220	△ 31,220	印刷代
自動販売機手数料	0		0	9,600	△ 9,600	自動販売機手数料
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	なし
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	なし
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	250,000		250,000	250,000	0	
収入合計	18,787,365	0	18,787,365	18,998,785	△ 211,420	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	13,041,000	0	13,041,000	10,308,968	2,732,032	
本俸	10,290,160		10,290,160	8,134,417	2,155,743	本俸
社会保険料	1,114,081		1,114,081	880,686	233,395	社会保険料
手当計	1,529,569		1,529,569	1,209,131	320,438	手当計
健康診断費	6,120		6,120	4,838	1,282	健康診断費
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど なし
退職給付引当金繰入額	101,070		101,070	79,896	21,174	市社協退職共済
その他	0		0	0	0	なし
事務費	735,000	0	735,000	2,205,931	△ 1,470,931	
旅費	20,515		20,515	61,572	△ 41,057	旅費
消耗品費	88,021		88,021	264,175	△ 176,154	事務用品・清掃用品他
会議随費	200		200	600	△ 400	会議費
印刷製本費	28,905		28,905	86,753	△ 57,848	カンター料金
通信費	62,449		62,449	187,425	△ 124,976	電話料金・郵送料他
使用料及び賃借料	0	0	0	9,600	△ 9,600	
横浜市への支払分	0		0	9,600	△ 9,600	目的外使用料
その他	0		0	0	0	なし
備品購入費	231,747		231,747	695,535	△ 463,788	スリッパ・台車他
図書購入費	0		0	0	0	なし
施設賠償責任保険	6,858		6,858	20,584	△ 13,726	施設賠償責任保険
職員等研修費	1,100		1,100	3,300	△ 2,200	職員等研修費
振込手数料	58		58	174	△ 116	振込手数料
リース料	23,465		23,465	70,425	△ 46,960	リース料
手数料	238,580		238,580	706,440	△ 467,860	手数料
地域協力費	2,166		2,166	6,500	△ 4,334	地域協力費
その他	30,936		30,936	92,848	△ 61,912	社協会費・求人広告・取入印刷・町内会費他
事業費	527,000	0	527,000	422,972	104,028	
運営協議会経費	42,000		42,000	15,000	27,000	予算：指定額
指定管理料充当 事業	485,000		485,000	407,972	77,028	
管理費	3,441,365	0	3,441,365	3,424,679	16,686	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算：指定額
光熱水費	1,433,363	0	1,433,363	1,426,413	6,950	光熱水費
電気料金	384,024		384,024	770,876	△ 386,852	
ガス料金	381,229		381,229	376,477	4,752	
水道料金	668,110		668,110	279,060	389,050	
清掃費	850,463		850,463	846,339	4,124	清掃費
修繕費	295,365	0	295,365	295,365	0	予算：指定額
機械警備費	158,458		158,458	157,690	768	機械警備費
設備保全費	514,854	0	514,854	512,358	2,496	
空調衛生設備保守	236,634		236,634	235,487	1,147	空調衛生設備保守
消防設備保守	24,415		24,415	24,297	118	消防設備保守
電気設備保守	0		0	0	0	電気設備保守
害虫駆除清掃保守	30,051		30,051	29,905	146	害虫駆除清掃保守
駐車場設備保全費	0		0	0	0	駐車場設備保全費
その他保全費	223,754		223,754	222,669	1,085	昇降機保守・自動扉保守他
共益費	0		0	0	0	なし
その他	188,862		188,862	186,514	2,348	植栽管理・ルート回収経費他
公租公課	1,043,000	0	1,043,000	824,717	218,283	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	1,043,000		1,043,000	824,717	218,283	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他( )			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
リース対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	18,787,365	0	18,787,365	17,187,267	1,600,098	
差引	0	0	0	1,811,518	△ 1,811,518	

自主事業費収入	485,000		485,000	170,600	314,400	予算：指定管理料を含む
自主事業費支出	485,000		485,000	407,972	77,028	
自主事業収支	0	0	0	△ 237,372	237,372	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	9,600	△ 9,600	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	9,600	△ 9,600	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

**平成29年度「横浜市中村地域ケアプラザ」**  
**収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>**

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,053,510	0	23,053,510	23,053,510	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000	0	151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	0	5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0			この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	3,000	△ 3,000	なし
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	なし
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	なし
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	109,600	△ 109,600	
印刷代	0		0	0	0	なし
自動販売機手数料	0		0	9,600	△ 9,600	自動販売機手数料
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	なし
その他(指定管理料充当)	0		0	100,000	△ 100,000	受入研修費
その他(提案時控除 法人負担分)	1,858,000		1,858,000	1,858,000	0	
<b>収入合計</b>	<b>30,851,510</b>	<b>0</b>	<b>30,851,510</b>	<b>30,964,110</b>	<b>△ 112,600</b>	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>28,706,000</b>	<b>0</b>	<b>28,706,000</b>	<b>25,368,241</b>	<b>3,337,759</b>	
本俸	15,763,408		15,763,408	13,930,536	1,832,872	本俸
社会保険料	3,901,328		3,901,328	3,447,705	453,623	社会保険料
手当計	8,470,635		8,470,635	7,485,721	984,914	手当計
健康診断費	25,609		25,609	22,631	2,978	健康診断費
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	494,665		494,665	437,148	57,517	市社協退職共済
その他	50,355		50,355	44,500	5,855	福祉医療機構退職共済掛金
<b>事務費</b>	<b>358,000</b>	<b>0</b>	<b>358,000</b>	<b>1,890,542</b>	<b>△ 1,532,542</b>	
旅費	9,529		9,529	50,322	△ 40,793	旅費
消耗品費	9,539		9,539	50,376	△ 40,837	事務用品・清掃用品他
会議諸費	114		114	600	△ 486	会議費
印刷製本費	9,937		9,937	52,477	△ 42,540	カンター料金
通信費	38,468		38,468	203,145	△ 164,677	電話料金・郵送料他
使用料及び賃借料	9,600	0	9,600	9,600	0	目的外使用料
横浜市への支払分	9,600		9,600	9,600	0	
その他	0		0	0	0	なし
備品購入費	8,211		8,211	43,360	△ 35,149	エレクトチャア・台車他
図書購入費	0		0	0	0	なし
施設賠償責任保険	527		527	2,784	△ 2,257	職員等研修費
職員等研修費	11,551		11,551	61,000	△ 49,449	振込手数料
振込手数料	115		115	606	△ 491	リース料
リース料	11,095		11,095	58,589	△ 47,494	手数料
手数料	0		0	0	0	なし
地域協力費	1,231		1,231	6,500	△ 5,269	地域協力費
その他	248,083		248,083	1,351,183	△ 1,103,100	車椅子修理・社協会費・町内会費・収入印紙他
<b>事業費</b>	<b>875,000</b>	<b>0</b>	<b>875,000</b>	<b>685,833</b>	<b>189,167</b>	
協力医	315,000		315,000	315,000	0	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	100,000		100,000	15,170	84,830	包括事業費
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000	147,090	3,910	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	208,573	100,427	予算:指定額
<b>管理費</b>	<b>912,510</b>	<b>0</b>	<b>912,510</b>	<b>912,140</b>	<b>370</b>	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	379,326	0	379,326	379,172	154	光熱水費
電気料金	101,628		101,628	204,907	△ 103,279	
ガス料金	100,889		100,889	100,089	800	
水道料金	176,809		176,809	74,176	102,633	
清掃費	223,056		223,056	222,966	90	清掃費
修繕費	78,510		78,510	78,510	0	予算:指定額
機械警備費	45,742		45,742	45,723	19	機械警備費
設備保全費	136,246	0	136,246	136,191	55	
空調衛生設備保守	62,622		62,622	62,597	25	空調衛生設備保守
消防設備保守	6,461		6,461	6,458	3	消防設備保守
電気設備保守	0		0	0	0	電気設備保守
害虫駆除清掃保守	7,951		7,951	7,948	3	害虫駆除清掃保守
駐車場設備保全費	0		0	0	0	駐車場設備保全費
その他保全費	59,212		59,212	59,188	24	昇降機保守・自動扉保守他
共益費	0		0	0	0	なし
その他	49,630		49,630	49,578	52	植栽管理・ルート回収経費他
<b>公租公課</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他( )	0		0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0		0	0	0	この列は入力しない
本部分	0		0	0	0	
当施設設分	0		0	0	0	
二一ス対応費	0		0	0	0	
<b>支出合計</b>	<b>30,851,510</b>	<b>0</b>	<b>30,851,510</b>	<b>28,856,756</b>	<b>1,994,754</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>2,107,354</b>	<b>△ 2,107,354</b>	

自主事業費収入	560,000			3,000		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	560,000			370,833		
自主事業収支	0			△ 367,833		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			9,600		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			9,600		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

## 平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市中村地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日  
(単位: 千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
		収入	介護保険収入	3206	43060
その他	5295		2539	0	0
介護予防・ケアマネジメント費 委託料	5295		2538	0	0
事業・負担金収入	0		0	0	0
	0		0	0	0
	0		0	0	0
	0		0	0	0
その他	0		1	0	0
<b>収入合計(A)</b>	8501		45599	0	0
支出	人件費		2393	35010	0
	事務費	144	2008	0	0
	事業費	0	433	0	0
	管理費	0	588	0	0
	その他	5929	7547	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0
	消費税	0	0	0	0
	介護予防・ケアマネジメント費 委託料	5309	0	0	0
		0	0	0	0
	繰入金	620	6790	0	0
その他	0	757	0	0	
<b>支出合計(B)</b>	8466	45586	0	0	
<b>収支 (A) - (B)</b>		<b>35</b>	<b>13</b>	<b>0</b>	<b>0</b>



# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市中村地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
うさぎとふくろうのキーカバー講座	<b>【目的】</b> 高齢者頭の体操（指先を動かす） <b>【内容】</b> 登録団体「NOEL」の協力により、うさぎとふくろうのキーケースを作る	・10月 ・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クールマフラー講座	<b>【目的】</b> 高齢者頭の体操（熱中症予防と指先を動かす） <b>【内容】</b> 利用サークル「さくら会」の協力により、熱中症予防にクールマフラーを作る	・8月 ・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスこどもランチ&コンサート	<b>【目的】</b> 小学生、中学生対象のランチ会&コンサート、居場所づくり <b>【内容】</b> 地域内の電子オルガン奏者を招いてクリスマスコンサートを実施、また、区内の手作りパン屋からパンを仕入れてスープと共にランチ会を開催する	・12月 ・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こどもいけばな体験講座	<b>【目的】</b> 子ども（3歳以上対象）に、花に触れる機会を作ること <b>【内容】</b> 花に触れ、アレンジすることでこどもの想像力を育む	・H29年9月 ・1回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こどもクリスマス・メロンパンdeコッタ講座	<p>【目的】 小学生、中学生対象の調理参加型ランチ会 居場所づくり</p> <p>【内容】 港北区 街の先生である花田えりこ氏を講師に迎えてメロンパンのデコレーションを行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月</li> <li>・1回</li> </ul>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こどもランチパンを作ろう	<p>【目的】 小学生、中学生対象の調理参加型ランチ会 居場所づくり、食育</p> <p>【内容】 調理サークル「キキララ」「くるみの会」の協力で、パンを作って焼き立てパンを食べる。メニューはパン、スープ、デザート（ゼリー）、麦茶</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月</li> <li>・1回</li> </ul>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スマホ・タブレット講座	<p>【目的】 地域の人たちにスマホ・タブレットの使い方を覚えていただき、コミュニケーションツールとして活用してもらう</p> <p>【内容】 スマホ、タブレットに興味を持っている地域住民に学ぶ場を提供する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H7月、11月、3月</li> <li>・3回</li> </ul>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
セカンドライフ講座	<p>【目的】 中高年層に向けて、地域で活躍する新しいライフスタイルを提案する</p> <p>【内容】 ケアプラザ圏域、近隣地域に居住する中高年層を対象として、地域でのボランティア活動や地元就労で地域社会に貢献する生き方の提案</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1月</li> <li>・1回</li> </ul>

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぶなの木料理講座	<p>【目的】 地域の健康増進に寄与するため、健康に良いキムチ、味噌等発酵食品を作り、ゆずこしょうの利用用法を学ぶ。3回講座</p> <p>【内容】 第一回「韓国料理講座」 第二回「ゆず胡椒を使った」健康料理 第三回「みそ作り」講座</p>	<p>・7月、10月、11月 ・3回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フラワーアレンジ講座	<p>【目的】 地域の人たちが世代を超えて集まり、季節の花のアレンジを楽しむことによって、コミュニケーションを広げサロンとなる</p> <p>【内容】 参加者は花材の中から好きな花を選び、自己の発想のもと作品を完成させる</p>	<p>・5月、11月 ・2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
プリザーブドフラワー講座	<p>【目的】 地域の人たちが世代を超えて集まり、仏花のアレンジを楽しむことによってコミュニケーションを拡大する</p> <p>【内容】 秋のお彼岸の時期に合わせて開催し、地域住民のQOL向上に貢献する。また、12月にはお正月向けの講座を開催する。</p>	<p>・9月、12月 ・2回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ペーパーキリング講座	<p>【目的】 地域の人達が手作りしながら会話を楽しみ、脳の活性化を図る</p> <p>【内容】 見本を参考に、自由なデザインでペーパーキリングの楽しさ体験してもらう</p>	<p>・10月 ・1回</p>

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ポーセリンアート	<p>【目的】 地域の方々が世代を超えて集まり、ポーセリンアートを通してコミュニケーションを広げる。子ども向けの講座も夏休み、春休みに開催する。</p> <p>【内容】 年間を通して開催し、多くの参加者を集う。又連続参加によって1セットの食器を自分でデザインし、作る楽しさを経験する</p>	<p>・4月、6月、8月、11月、1月、3月 ・9回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
マイかごバッグ作り	<p>【目的】 地域の人達が手作り品と会話を楽しむ場を作り、ボランティア育成を養成する</p> <p>【内容】 クラフトテープを使って基本から「マイかごバック」を作る</p>	<p>・6月 ・1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで遊ぼう音楽遊び	<p>【目的】 軽度障がい児の余暇支援事業を、地域とボランティアの協力で行うことで、地域で障害者を支える環境づくりをする</p> <p>【内容】 一般社団法人 日本音楽整体療法協会 代表理事 利根川由美氏を講師に迎え、音楽を中心に様々な遊びを行う</p>	<p>・6月、9月、12月、3月 ・4回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
リフレッシュヨガ講座	<p>【目的】 地域の方々の健康促進の為、ヨガで体を動かし、幅広い世代間で交流を図る</p> <p>【内容】 ヨガの基本を学び、インナーマッスル、体幹を鍛え、柔軟性を高める</p>	<p>・2月 ・1回</p>

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
異文化交流講座 フィリピン料理	<p>【目的】 地域に暮らす外国人との交流を深め、互いの文化を知り協力関係を作る</p> <p>【内容】 ・フィリピン家庭料理を作り、ランチを食べながら文化に触れる メニュー：シニガン（家庭料理の肉野菜スープ）とごはん、ルンピア（春巻き）⇒デザートとして具材はバナナでチョコレートをかけて食べる</p>	<p>・7月 ・1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
寄せ植え講座	<p>【目的】 地域内の企業（横浜植木）のCSR活動として、サロンにて寄せ植え講座を開催し、地域住民との交流を図る</p> <p>【内容】 地域内サロン 花もようにて寄せ植え講座を開催する</p>	<p>・12月 ・1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子陶芸体験教室	<p>【目的】 陶芸作品作りを体験し、就園児、小学生対象余暇支援講座とする</p> <p>【内容】 「中村陶芸くらぶ」の指導で、ねんどをこね各自思い思いの作品をつくる。約1ヵ月後に焼き上がり、夏休みの作品となるようにする</p>	<p>・7月 ・1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中村歴史 よもやま話	<p>【目的】 地域の歴史と文化を知ることにより、地域に暮らす人達の交流を深める機会とする</p> <p>【内容】 地域にある地蔵、石碑（金石）についてを資料、プロジェクターを使い話す</p>	<p>・11月、2月 ・2回</p>

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
盆栽講座	<p>【目的】 地域内の企業（横浜植木）のCSR活動としてご協力頂き、盆栽講座を開催し、地域住民との交流を図る</p> <p>【内容】 根岸森林公園勤務の横浜植木社員が講師となり、ローズマリーの盆栽を経験する</p>	<p>・3月 ・1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
珈琲の淹れ方講座	<p>【目的】 地域交流の場（ケアプラザ、サロン、町内会等）にて、本格コーヒーを淹れて、香り味を楽しむ事で、継続したコミュニケーションを図り、交流活動を促進する</p> <p>【内容】 近隣のカフェのオーナーを講師として迎え、コーヒーの基礎知識を学び、挽きたての豆からコーヒーを淹れる方法を体験する</p>	<p>・11月、2月 ・2回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高齢者支援ボランティア育成講座 (新規)	<p>【目的】 実際にボランティア活動をしている人のスキルアップおよび始めてボランティアをしてみたい希望のある人特に男性が活躍するための入門的な講座とする。</p> <p>【内容】 講師を招いて5回講座を行った。 ボランティアの心構えや実際に生活支援を行うときに注意すべきことなどを実践しながら学んだ。</p>	<p>平成29年7月 (全5回)</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとカフェ オレンジ (新規)	<p>【目的】 高齢者居場所づくりの一環として開くお茶のみサロン。中村地域ケアプラザを会場として実施。</p> <p>【内容】 定期的で開催する介護予防のプログラムを取り入れて、ミニデイサービスのなお茶のみサロンを行うためのプレ事業として開催した。今後健康体操、回想法、簡単ゲーム、手作り、料理などを、午後のお茶のみ時間や食事会の後に行う。今回はパンケーキとコーヒーを楽しみながら集うという内容。</p>	<p>10月1回</p>

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロン花もよう	<p>【目的】 高齢者居場所づくりの一環事業</p> <p>【内容】 丘陵地に集う場がないことから実行委員会を立ち上げ個人宅を利用して定期的を開催。包括支援センターによる 介護予防のプログラム、地域交流による事業を取り入れるほか、自主的事業としてコンサートや季節の行事を開催した。また隔週でヨガ、ストレッチ体操を実施。月1回精神障害者サロンを開催している。今後中学生サロンも実施予定。</p>	<p>平成29年6月から</p> <p>サロン花もよう 毎週月曜日</p> <p>ヨガとストレッチ 隔週金曜日</p> <p>精神グループホームサロン 月1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域支援生活支え合いマップ事業 (新規)	<p>【目的】 地域の状況をマップに落とし込みながら可視化し問題点や課題を地域住民と共有し、どのようなシステムが必要かをともに考える機会とする。</p> <p>【内容】 開催のための地域の意見が集約できず実施できなかった。</p>	0回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域まちづくり支援制度勉強会 (新規)	<p>【目的】 横浜市の「地域まちづくり支援制度」について学び、地域活動の活性化に活用する。</p> <p>【内容】 平成30年度実施予定</p>	0回

	目的・内容	実施時期・回数
買い物支援事業 ママ・マルシェ	<p>【目的】 生活支援体制整備事業の一環</p> <p>【内容】 中村地区ちょこっとお助け隊から、ママさんグループが「思いやり隊」として買い物支援事業を立ち上げた。花もようから会場を提供されパンと野菜の販売を開催。</p>	2回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	<p><b>【目的】</b> 地域の住民や公的施設職員に向けて、認知症に対する正しい知識と認識を持っていただく。また認知症を発症しても暮らしていけるような地域の体制を作るための人材育成をする。</p> <p><b>【内容】</b> キャラバンメイトの資格を持つ講師を招き、ビデオで事例を見た後に講師の話聞き質疑応答をする</p>	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症キッズサポーター養成講座	<p><b>【目的】</b> 小中学校に通う生徒に向けて、認知症に対する正しい知識と認識を持っていただく。また認知症を発症しても暮らしていけるような地域の体制を作るための人材育成をする</p> <p><b>【内容】</b> キャラバンメイトの資格を持つ講師を招き、ビデオで事例をみた後に講師の話聞き質疑応答をする。</p>	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症カフェ ほっとカフェ・オレンジ	<p><b>【目的】</b> 中村町1.2丁目住民のサロン作りと、地域に住む、認知症の方の居場所作り、その家族の相談の場作りを目的とする</p> <p><b>【内容】</b> 認知症キャラバンメイトの皆さんとヘルスメイトメンバー、ケアプラザの職員とで、カフェを実施、地域住民との交流を行った。</p>	年1回



# 平成29年度 自主事業収支報告書

## 施設名 中村地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
うさぎとふくろうの キーカバー講座	地域住民	1,188	地活	388	800			1,188	
	8		包括						
	100		生活						
クールマフラー講座	地域住民	5,523	地活	2,023	3,500			4,963	560
	8		包括						
	300		生活						
クリスマス 子どもランチ&コンサート	子ども	34,257	地活	17,457	16,800		5,569	28,128	560
	42		包括						
	400		生活						
子どもいけばな体験講座	子ども	20,749	地活	15,749	5,000		5,569	14,620	560
	10		包括						
	500		生活						
子どもクリスマス メロンパンdeコッタ講座	子ども	21,378	地活	11,378	10,000		5,569	15,249	560
	20		包括						
	500		生活						
子どもランチ パンを作ろう	子ども・親子	20,542	地活	11,142	9,400			19,982	560
	52		包括						
	子ども100円、大人300円		生活						
スマホ・タブレット講座	高齢者	1,120	地活	1,120					1,120
	116		包括						
	0		生活						
セカンドライフ講座	地域住民	560	地活	560					560
	23		包括						
	0		生活						
ぶなの木料理講座	地域住民	596	地活	596				596	
	30		包括						
	0		生活						
フラワーアレンジ講座	地域住民	59,698	地活	11,698	48,000		11,138	48,000	560
	32		包括						
	1,500円		生活						
プリザーブドフラワー講 座	地域住民	12,258	地活	12,258			11,138		1,120
	27		包括						
			生活						
ペーパークイリング講座	地域住民	2,974	地活	1,574	1,400			2,414	560
	7		包括						
	200円		生活						
ポーセリンアート	地域住民	79,734	地活	55,934	23,800		50,121	25,693	3,920
	190		包括						
	500円～700円		生活						
マイかごバッグ作り	地域住民	13,473	地活	3,873	9,600			13,473	
	11		包括						
	800円		生活						
みんなで遊ぼう音楽遊び	障がい児	52,219	地活	42,219	10,000		44,548	5,431	2,240
	31		包括						
	500円		生活						
リフレッシュヨガ講座	地域住民	6,664	地活	3,664	3,000		5,569	535	560
	10		包括						
	300円		生活						
異文化交流講座 フィリピン料理	地域住民	18,754	地活	9,154	9,600		5,569	12,625	560
	12		包括						
	800円		生活						

## 平成29年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
寄せ植え講座	地域住民	6,129	地活	6,129			5,569		560
	21		包括						
			生活						
親子陶芸体験教室	子ども・親子	560	地活	560					560
			包括						
			生活						
中村歴史よもやま話	地域住民	12,258	地活	4,058	8,200		11,138		1,120
			包括						
	100円		生活						
盆栽講座	地域住民	5,000	地活	5,000			5,000		
	10		包括						
			生活						
珈琲の淹れ方講座	地域住民	32,338	地活	20,838	11,500		11,138	20,080	1,120
	23		包括						
	500円		生活						
		407,972		237,372	170,600	0	177,635	212,977	17,360

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

中村地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
介護者サロン	地域住民	6,477	地活						
	26		包括	6,477				6,477	
	0		生活						
認知症サポート養成講座	地域住民施設職員	570	地活						
	139		包括	570				570	
	0		生活						
認知症キッズサポーター養成講座	地域住民	1,400	地活						
	105		包括	1,400				1,400	
	0		生活						
認知症カフェ	地域住民	6,723	地活						
	30		包括	3,723	3,000			6,723	
	100		生活						
		15,170		12,170	3,000	0	0	6,723	8,447

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **中村地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ちよこっとボランティア講座	地域住民	17,842	地活						
	15		包括						
	0		生活	17,842	0	0	17,842	0	0
サロン花もようお茶飲み会	サロン参加者	1,380	地活						
	20		包括						
	0		生活	1,380	0	0	0	1,380	0
中村八幡・唐沢平楽協議体	地域住民	3,674	地活						
	25		包括						
	0		生活	3,674	0	0	0	3,674	0
唐沢平楽山谷協議体	地域住民	300	地活						
	25		包括						
	0		生活	300	0	0	0	300	0
買い物支援クリスマス交流会	地域住民(多世代)	12,960	地活						
	40		包括						
	0		生活	12,960	0	0	0	12,960	0
生活支援事業買い物事業	地域住民	14,865	地活						
	150		包括						
	0		生活	14,865	0	0	0	14,865	0
		51,021		51,021	0	0	17,842	33,179	0